

INFORMATION

T&D情報システム株式会社

2019年3月1日

FUJITSUファミリー会論文（2018年度）で、当社従業員が執筆した論文が優秀賞を受賞いたしました。

FUJITSUファミリー会論文（2018年度）(*)で、当社従業員が執筆した論文が優秀賞を受賞いたしました。

■研究テーマ

「生命保険における引受査定業務の自動化・スピードアップ」

- ・伊藤隆郎職員
- ・川西あゆみ職員（以上、事業三部）

■概要

大同生命とそのシステム開発・運用を受託している当社では、“業務革新”を推進する施策として、引受査定業務のさらなる高度化・効率化に取り組んでいます。

その中でも、『生命保険申込の手续に要する日数の短縮(スピードアップ)』によるお客さまへのサービス向上と事務の生産性向上が課題でした。

本論文では、課題の解決策として、人による作業や判断の負担を軽減するための以下3施策の取り組み事例を紹介しました。

- ・「健康診断書送付方法の改善(ハンディスキャナとイメージ伝送技術を活用)」
- ・「健康診断書のデータ変換・入力の自動化(非定型OCR技術を活用)」
- ・「告知方式の改善と医務査定の自動化(自動引受査定エンジンを導入)」

■本人コメント

・私たちは、全業務のペーパーレス化を推進する中で、紙での取扱いが残る健康診断書の改革に取り組みました。ハンディスキャナ導入や自動引受査定エンジンの導入など、新たに取り組むことが多く、高い水準のセキュリティ確保が必要となるなど難題もありました。

本論文の執筆を通して、プロジェクトの成功体験と今後の課題を改めて整理することができ、さらなる自動化への取り組みにつながる有益な経験になりました。(伊藤)

- ・自身が携わったプロジェクトの取り組み内容について評価いただけたことを大変うれしく思います。ご指導、ご協力いただいた皆様にお礼申し上げます。今後も、生産性・品質の高いシステムを開発できるよう引き続き取り組んでまいります。(川西)

(*)FUJITSUファミリー会は、1964年に発足、2014年度で創設50周年を迎えた歴史のあるユーザー会。会員数は約3,900会員、年間約400回のイベントを開催し、情報通信システムのユーザー団体としては国内最大規模。「人財育成」「情報収集」「異業種交流」の3本柱を目的として活動しており、2018年度のファミリー会論文では「会員企業の課題解決に役立つICTを活用した事例」をテーマに論文を募集しており、自己成長・人材育成と、自社の取り組みを広く社外にアピールできる場ともなっている。

以上

本件に関するお問合せ先

T&D情報システム株式会社

経営企画部 経営総務課 048-825-6101